

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                           |            |            |
|---------|---------------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 2793200128                |            |            |
| 法人名     | 株式会社ケア21                  |            |            |
| 事業所名    | グループホーム たのしい家佐太中町 (ユニット2) |            |            |
| 所在地     | 大阪府 守口市 佐太中町 7丁目 10-20    |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成28年5月29日(日)             | 評価結果市町村受理日 | 平成28年11月7日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaisokensaku.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;ligyosyoCd=2793200128-00&amp;PrefCd=27&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;ligyosyoCd=2793200128-00&amp;PrefCd=27&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター           |
| 所在地   | 〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル |
| 訪問調査日 | 平成28年6月20日                         |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

・ご本人様が何が出来るのか【今】を考え、炊事・洗濯・掃除の生活リハビリを中心に生活して頂いています。  
 ・調理においては出来る方は包丁を使用されたりフライパンで炒め物をスタッフとされ、また座位の方はテーブルで人数分を分けて頂いています。  
 ・掃除においては、1日3回毎食後フロアー及びトイレ、玄関と清掃消毒を心掛けご利用者様と一緒にを行っています。  
 ・洗濯物も、一緒に干しに行き取り込み後も一緒にたたんで頂いています。  
 ・野菜を植え、調理するなど園芸療法にも取り組んでいます。また、気候に良い日は、気分転換も兼ねて屋上で食事やおやつを召し上がって頂いています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

当該事業所は開所して約2年が経過し、事業所理念を基に行動指針を示し毎月理念を振り返る機会を設け具体的な確認を行い、利用者が日々楽しく過ごせるように職員がコミュニケーションを取りながら関わり支援を行っています。今年度よりフロアリーダーを置くことにより、職員間が纏まり利用者にも目が行き届くようになり細やかなケアにつながっています。また、排泄の自立に向けた取り組みを行う事でおむつを使用しなくなった利用者も多く表情も豊かになり活動や発言も多くみられています。利用者の出来る事は一緒に関わってもらって生活リハビリとなったり、園芸療法や光療法等を取り入れながら残存機能を維持できるような支援を行っています。毎日事業所の周辺を掃除する事で地域の方々と接し、地域に根差した事業所となるよう日々取り組んでいます。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |                       |   |

自己評価および外部評価結果

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|--|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 事業所理念は相談室に掲示し周知しています。今後、毎月の会議時に周知確認の為、各スタッフの進捗状況を確認していきます。         |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 夏、秋祭りや初詣の参加や町会行事の神社清掃に、御利用者様と一緒に参加しています。                           |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 散歩や買い物も含め、外出することにより認知症に対する理解を深めています。                               |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 各方面から頂いた意見は、スタッフ間で話し合い実践しています。また、報告書を含む資料は玄関に置きいつでも閲覧できるようにしています。。 |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 疑問等が、あれば保険者のくすのき連合へ赴き確認相談しています。                                    |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 声掛けの言葉ひとつでも拘束に値するのかわりながら実践しているが、玄関やフロア内扉は防犯上施錠しています。               |      |                   |

グループホームたのしい家佐太中町(ユニット2)

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|---|---|------|-------------------|
|    |     |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている     | 毎年、本社における研修項目で必須項目になっており管理者が受講後、施設会議において落とし込みによる施設内研修を実施している。         |      |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今後、財産管理による成年後見人制度の仕組みが分かる外部研修を探し全スタッフに周知し参加を促していきます。                  |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 契約時は必ず所要所で、ひと呼吸置き御家族様に質問等があれば常に確認しています。また後日、疑問質問があればいつでも連絡頂ける様にしています。 |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                  | 玄関に、意見箱を設置しご来宅の際いつでも意見を頂戴できる様にしています。                                  |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                   | 毎月の施設会議で、ひとりひとりの意見を聞いています。  |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている   | 本社による年1回の従業員満足度調査での確認や、キャリアア段位制度により次の目標を明確にしています。                     |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている      | 勤務体制や人員体制によるが、なるべく研修に参加できるようにしています。                                   |      |                   |

グループホームたのしい家佐太中町(ユニット2)

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14                         |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同社内の、施設交流を少しずつ増やしている。また、社外同業者との交流が無かったが6/27における守口市グループホーム管理者会において研修がありスタッフも参加する。 |      |                   |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 御利用者様の置かれている状況を踏まえ御本人、御家族のご要望に対してこまめに耳を傾けて満足して頂ける環境を整える様にしています。                  |      |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 入居前に、疑問や質問、要望等があればいつでも確認して頂ける事を伝えています。   |      |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 入居前に、要望をお聞きし御利用者様主体のサービスを考えています。また、浮腫や下肢筋力維持等の為、必要があればマッサージ利用など提案しています。          |      |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | スタッフには御利用者様へ【お手伝い】の言葉を禁じ、【御利用者様が出来ない事をスタッフがお手伝いする。】と意識し関係を作っています。                |      |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 少しでも何か、あれば御家族様へ連絡させて頂き相談もさせて頂いています。また、御家族様の協力も不可欠と考えて御利用者様の援助に取り組んでいます。          |      |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 入居前に行かれていた、市役所や郵便局へ赴き話をしながら思い出して頂く様に常に心掛けています。。                                  |      |                   |

グループホームたのしい家佐太中町(ユニット2)

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | 孤立せずに、時にはスタッフが橋渡しをしたりお互いが出ない事をされ支え合う雰囲気を作る様にしています。                             |      |                   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | サービス利用終了後は御家族様からの連絡は無いが必要とあれば、いつでも相談や援助できる体制を整えています。                           |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | スタッフは御家族様が来宅された際、情報を聞き入れ常に周知しご利用者様も含め安心した暮らしが出来る様に実践しています。                     |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | スタッフは御家族様が来宅された際、情報を聞き入れ常に周知しご利用者様も含め安心した暮らしが出来る様に実践しています。                     |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 御利用者様の少しの変化に気づく努力をし、出来る事は一緒にし出来ない事を援助し安心安全な生活環境を作る様にしています。                     |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 御利用者様に携わる関係者から情報収集を行い現状のニーズに適合したケアプランの作成を行っています。                               |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | サービスに対しての記録の実施、申し送りを利用してケアプランの内容を共有しています。御利用者様の現状とサービス内容が相違している場合は計画変更を行っています。 |      |                   |

グループホームたのしい家佐太中町(ユニット2)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 御家族様や御本人様の状態やニーズに変更があった場合は速やかに会議を開催しその時に応じたサービスを提供しています。                      |      |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 神社、スーパー、市役所、郵便局、銀行他外出の際は御利用者様と一緒に行き支援しています。                                   |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 月2回の往診日には詳細に情報や御家族様からの要望や疑問を伝えています。   |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 週1回の、訪問看護日に情報を伝え相談しています。通常は、訪問看護とは別の看護師(往診クリニック)に随時報告、連絡、相談し指示を仰いでいます。        |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院された際、お見舞いにお伺いした際は病院看護師に必ず現状確認し早期退院に向けていつでも受け入れ可能にしています。                     |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 看取りケアを実施しており契約時、御家族様に報告し話し合いをしています。また、スタッフには看取りケアについて恐怖を感じない様に話し合いを少しずつしています。 |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 初期対応としてクリニックのオンコールをスタッフルームに掲示し指示を仰ぎ実践しています。                                   |      |                   |

グループホームたのしい家佐太中町(ユニット2)

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35                               | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている           | 昨年12月の消防署協力の訓練及び今年5月は自主訓練を行い実践しています。今後は地域の方にも協力して頂ける様にしていきます。            |      |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 御本人様への声掛けは不快感を持たれない様に声のトーンやタイミングを考えています。また、居室へ入る際は必ず声掛けし許可を頂いてから訪室しています。 |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 化粧品などの嗜好品の買い物を声掛けし一緒に行っています。   |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 業務優先では無く入浴の声掛け等、時間・場所・人を変えながら御利用者様の思いを優先に援助しています。                        |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 入浴時、着替えられる洋服を選んで頂いています。  |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 調理による生活リハビリを行い、食材の皮むき、包丁を使用するのカット、盛り付けなど御利用者様各々が出来る事を見極め一緒にしています。        |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食材会社の栄養士によるメニューに基づき栄養バランスを摂っています。日々の補水量や毎食の摂取量の把握も行っています。                |      |                   |

グループホームたのしい家佐太中町(ユニット2)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|--|--|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 毎食後、御利用者様全員口腔ケアを行い、御利用者様各々スタッフが付添い仕上げを行っています。  |      |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 各々の排泄パターンを掴み、御利用者様のサインや行動を把握しトイレ誘導を行っています。その結果、リハビリパンツから布パンツへ。パットから、ある方は無しに。ある方は織物シートとオムツ外しを実践しています。 |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 医療機関と連携し指示の基、下剤コントロールや野菜や補水量を多めにする等、実践しています。   |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴日は決めず、タイミングが合えば昨日入られても当日も入浴して頂いています。   |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 居室に御利用者様が好む絵や写真、花を飾っています。また、寝具は清潔に保ち気持ちよく入眠できる様に心掛けています。   |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | 医療機関と連絡を取ったり往診日には薬剤師が来られ直接確認しています。また、薬剤が変更になった場合症状の変化に気を付けています。                                      |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている      | 生活リハビリを中心に炊事、洗濯、掃除等をスタッフと一緒にしています。また、散歩や買い物にもスタッフと一緒にしています。  |      |                   |



グループホームたのしい家佐太中町(ユニット2)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | スタッフと一緒に、散歩や買い物に行っています。また、年1回であるが京都観光に数名の御利用者様になるが開設以来行っています。   |      |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 御利用者様のお金は金庫に預かり買い物時は御利用者様にお金を出して頂きおつりも直接受け取りをして頂いています。          |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 御家族様の許可もあり携帯電話を持たれている御利用者様がおられます。                               |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 施設全体、特にフロアー、トイレ、玄関は1日3回清掃する等、清潔を心掛けています。また、花が常にあり季節を感じて頂いています。  |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | フロアーの各自席に座られたりソファーでくつろがれる事が出来る様にしています。                          |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 御利用者様が使われていたタンスや仏壇、お好きなぬいぐるみ、花、写真等好きな物を置いて頂いています。               |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 生活リハビリを中心に炊事、洗濯、掃除等をスタッフと一緒にしています。また、各居室には御本人様と分かる様に名前を表示しています。 |      |                   |